

# 持続可能な社会形成に役立つ日本の伝統的知恵

主催:環境文明 21、環境文明 21 関西グループ

我が国では、厳格な鎖国政策を実施した江戸時代(1603~1868年)をはじめとして、自然との共生を前提とした暮らしや生業の中で、様々な伝統的な知恵を活かし、平和で質の高い文化性を持続発展させてきました。約3000万人の人口を抱えながらも持続可能な社会を持続してきた世界史的に見てもユニークな実績があります。

本シンポジウムでは、環境文明 21 が考える日本の持続性の知恵を説明するとともに、その知恵がなぜ現在社会において軽んじられるようになったか、それを活かすにはどうすればよいかについて議論する予定です。

日時:平成19年7月29日(日)

13:30-16:30(予定)

参加費  
無料

会場:奈良県文化会館集会室A・B

## お申し込み

下記の参加申込書にご記入の上、7月27日までにFAXまたは [info@kankoh21.org](mailto:info@kankoh21.org) でお申し込みください。  
(当日受付可)

NPO法人 環境文明 21

## お問合せ

〒145-0071 東京都田大区田園調布2-24-23-301  
TEL:03-5483-8455 Fax:03-5483-8755

## プログラム

子どもたちによる合唱

1. 開催あいさつ
2. 日本の持続性の知恵(裏面参照)の説明
3. パネルディスカッション

(日本の持続性の知恵はなぜ軽んじられるようになったか?)

パネラー

内藤正明氏(京都大学名誉教授)

加藤三郎氏(NPO法人環境文明21共同代表)

地元関係者の参加を予定

コーディネーター

藤村コノエ(NPO法人環境文明21共同代表)

4. フロアの参加者と意見交換

[終了後、会費制の懇親会を開催しますので、是非、ご参加ください]

## 日本の持続性の知恵

モノへの執着より精神の豊かさや心の平安を重視していた  
 自然と同化し、自然との共生の精神を基盤にしていた  
 足るを知る、自足の心を持っていた  
 輪廻、循環思想が根付いていた  
 調和を大切にし、家や地域などの集団の存続を重視していた  
 精神の自由を尊ぶ気風があった  
 先祖崇拝や先人を大切にすることで命や暮らしをつないでいた  
 教育の価値を認め、次世代を愛し育てることに熱心だった



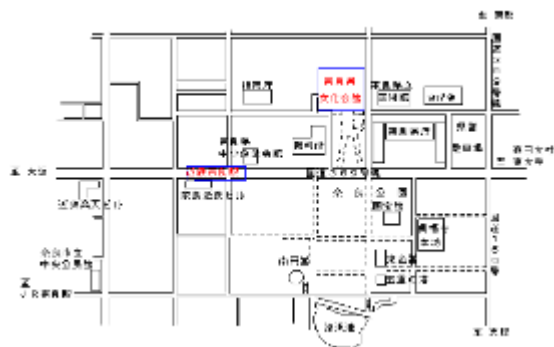
## 会場

会場:奈良県文化会館

集会室A・B

〒630-8213 奈良市登大路町 6-2

TEL:0742-23-8921



----- 切り取り線 -----

## 参加申し込み

持続可能な社会形成に役立つ日本の伝統的知恵

FAX:03-5483-8755

|        |           |     |           |
|--------|-----------|-----|-----------|
| 氏名     |           | 所属  |           |
| TEL    | (       ) | FAX | (       ) |
| E-mail |           |     |           |
| 連絡先住所  | 〒         |     |           |
| ご意見    |           |     |           |